


## 再評価結果（平成22年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道13号 <small>しんじょうきた</small> 新庄北道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局																										
起終点	自： <small>やまがた しんじょう まつもと</small> 山形県新庄市松本 至： <small>やまがた しんじょう とおがまち</small> 山形県新庄市十日町	延長	4.7km																												
事業概要																															
<p>東北中央自動車道は、福島県相馬市を起点として福島市、山形県山形市等を経て秋田県横手市で東北横断自動車道釜石秋田線に連結する延長約268kmの高速自動車国道である。</p> <p>新庄北道路は、東北中央自動車道の一部区間を形成する事業であり、東北内陸部の産業、経済、文化の広域的な交流・連携の促進を図るとともに、三次救急医療施設へのアクセス向上、交通混雑の緩和等を目的としている。</p>																															
H12年度事業化		H11年度都市計画決定		H15年度用地着手																											
H17年度工事着手																															
全体事業費	181億円	事業進捗率	88%	供用済延長	0km																										
計画交通量	15,500台/日																														
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">B/C</td> <td style="width: 50%;">(事業全体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(残全体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>17.6</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体)		2.6		(残全体)		17.6	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総費用</td> <td>(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>28/192億円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>18/182億円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>10/10億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体)		28/192億円	事業費	18/182億円	維持管理費	10/10億円	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総便益</td> <td>(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>493/493億円</td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td>446/446億円</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td>12/12億円</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td>34/34億円</td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/(事業全体)		493/493億円	走行時間短縮便益	446/446億円	走行経費減少便益	12/12億円	交通事故減少便益	34/34億円	基準年	平成21年
B/C	(事業全体)																														
	2.6																														
	(残全体)																														
	17.6																														
総費用	(残事業)/(事業全体)																														
	28/192億円																														
事業費	18/182億円																														
維持管理費	10/10億円																														
総便益	(残事業)/(事業全体)																														
	493/493億円																														
走行時間短縮便益	446/446億円																														
走行経費減少便益	12/12億円																														
交通事故減少便益	34/34億円																														
感度分析の結果																															
残事業について感度分析を実施																															
【残事業】	交通量変動	: B/C=19.7 (交通量 +10%)	B/C=15.8 (交通量 -10%)																												
	事業費変動	: B/C=16.6 (事業費 +10%)	B/C=18.8 (事業費 -10%)																												
	事業期間変動	: B/C=17.1 (事業期間 +20%)	B/C=18.1 (事業期間 -20%)																												
事業の効果等																															
<p>①高規格幹線道路ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東北内陸部の交流、連携を促進する高規格幹線道路の骨格を形成する。</li> </ul> <p>②高速ネットワークの形成による産業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新庄北道路周辺には、新庄中核工業団地、横根山工業団地が存在し、当該道路の整備により、横根山工業団地から新庄ICまでの所要時間が17分から12分と約5分短縮される。</li> </ul> <p>③三次救急医療施設へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新庄市を含む最上地域において、県都山形市に存在する高次医療施設への60分カバー圏域人口が31,100人から34,600人と約3,500人増加。</li> </ul> <p>④交通混雑の緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>並行現道に渋滞交差点が存在し、冬期降雪時には旅行速度が20km/h未満に低下する等、当該道路の整備により、市街地部の冬期交通環境の改善が期待される。</li> </ul> <p>⑤交通事故の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>並行現道では、死傷事故率が500件/億台キロを超える区間が存在し、当該道路の整備による混雑緩和により交通事故の軽減が期待される。</li> </ul>																															
関係する地方公共団体等の意見																															
<p>国道13号整備促進期成同盟会、新庄・湯沢地域間高規格幹線道路建設促進同盟会、最上開発協議会、山形県商工会議所連合会、山形県最上地方町村議会議長会、県知事、山形県町村会、山形県町村議会議長会から一般国道13号新庄北道路の整備促進の要望を受けている。</p> <p>県知事の意見：一般国道13号新庄北道路の再評価にかかる対応方針につきましては、異存ございません。</p>																															
事業評価監視委員会の意見																															
対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である。																															
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等																															
この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。																															
事業の進捗状況、残事業の内容等																															
【執行済み額】事業費：160億円（進捗率88%） うち用地費：35億円（進捗率100%）。																															
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等																															
事業進捗に係る問題はない。平成22年度暫定2車線供用を目指して進捗を図る。																															
施設の構造や工法の変更等																															
<p>プレキャストの中桁について、従来のウェブ被覆コンクリートを省略することでコスト縮減を図る。</p> <p>一部盛土材を購入土から他公共事業との調整により残土を受け入れることでコスト縮減を図る。</p> <p>仮設資材（仮排水管）を工事間で再利用することでコスト縮減を図る。</p>																															

対応方針	事業継続
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図 	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。